

教育後援会 会報

No. 33
令和5年9月
月岡校下教育後援会

四年振りに合同歓送迎会を 行いました

月岡校下教育後援会

会長 谷内 正博

日「るより、校下の皆様には、教育後援会にご協力とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、まん延して、過去三年間、合同歓送迎会は出来ませんでした。二月頃より、感染者数が比較的少なく、症状も軽くなり、四月二十二日に、合同歓送迎会を行いました。

当日は、青空に立山連峰がかがやき、月岡野にレンゲが咲く中、保育所・幼稚園・小学校・中学校の、退職者、転出者、転入者の方々の、合同歓送迎会を、小学校の体育館で行いました。

午後三時から開催、主催者あいさつ、真田自治振興会長の来賓あいさつの後、各異動者の紹介が、各育友会長・保護者会長により行われました。

中学校は、大道会長、小学校は道江会長、幼稚園は田中会長、保育所は教習会長、皆さんアンケートや子供達にヒアリングされ、先生のエピソード等も紹介されて、笑いもあり、和やかで、皆さんスピーチも上手い。

次に、退職者・転出者代表の代読(当日、急に所用で参加できず)、転入者代表のあいさつ(竹内小学校校長)がありました。イベントは、中学校ダンス部(女の子八人)のダンス二曲。あいさつも踊りも元気一杯!春爛漫の陽でした。みんな元気を「いっぱい」もらって、歓談に。退職・転入の先生の方へ、育友会の方が行かれて、なごり惜しそつ!

今度は、退職・転出・転入者へ万歳!(松本自治振興会副会長)。お返しに、栃谷前月岡保育所所長の万歳!

各育友会長・保護者会長が、それぞれの退職・転入の方々を迎えに行かれて、転入を含む先生方や育友会、来賓、関係者の拍手の中、体育館を半周されて、お別れ!

たいへん、良い、心に残る、合同歓送迎会でした(やはり月岡はあったかい)。いろいろ、準備・会場設営・片付けをしてくださった、各育友会・保護者会・関係者の皆さんに感謝します。

前会長の牧野さんは、長年、教育に携ってこられた立派な方です、十年間、本当に「苦労さまでした。私は教育とは無縁でしたが、元気な四百七十四人*の子供達と、みんなの子供達の、「学びと笑顔のために」頑張ろうと思います。よろしくお願ひ致します。(*保育所+幼稚園+小学校+中学校の子供達の人数)

「願ひ」

副会長 谷内 早苗

私がおもたれに願ひすることは、「幸せな大人」になってほしいということ。いささか漠然としているかもしれないが、幼年期・少年期、自分のやりたいことを見つけ瞳を輝かせる日々を送ってほしい。その時の満足感や充足感が一生を送る上で土台となっていくと思っています。人生の道中で出会うであろう山坂を、乗り越える力となっていくと思っております。

私たち地域の大人たちは、そんな子どもたちの成長にできる限りのお手伝いをしていきたいと思っています。

「私たちの願う社会とは」

副会長 四下 順文

先日ある研修会で、こんなグループワークを経験しました。部屋の一番前に「ゴミ箱」を設置し、学校の教室のように座る参加者それぞれの座席から、丸めた紙を前の「ゴミ箱」に向かって投げて、入った人だけキャンディをもらえるというものです。ゴミ箱から遠い、後ろの席の人はほとんど入らず「不公平だ」との声があげられます。しかし、前列からは、そういった声は上がりません。ただ「ゴミ箱だけに意識を向けて、一生懸命投げ入れることだけに集中しています。後列の人には絶望的な「全体の仕組み」がよく見えています。前列の人は、自分の背後がどうなっているか、そもそも振り向く必要すらありません。

そして、後ろになればなるほど出てくる

のが、「そもそも目標の「ゴミ箱がよく見えないし無理」「投げてもらうせ入らない」といった諦めの声でありました。

このグループワークで、座る位置があらわすのが、マジョリティ性とマイノリティ性です。前列にいけばいくほどマジョリティ側で、投げるといふ行為は、それぞれの立場での努力を示しています。前列の人にとっては、投げ入れることはそんなに難しくありません。ところが、後ろへ行くほど相対的な訓練と強運がないと投げ入れることはできません。

SNSやニュースで毎日見聞きする、さまざまな差別やハラコメント。「もっと平等な社会になったらいいのに」「なんでこんなことが起こるのだろう」と、胸を痛める人は少なくないでしょう。「私は差別なんてしない」と思う人もいることでしょう。

「ただ、もしかすると、中立」で何も言わなければ差別にはあたらないという意識そのものが、すでに差別的な社会構造に加担しているのかもしれない。

差別や人権の問題は、これまで、社会的に弱い立場のマイノリティ側の人に焦点を当てて語られてきました。しかし、マイノリティ側が被る不利益の裏側にあるマジョリティ側の特権(マジョリティ性を持つ社会集団にいてることで労なくして得ることの出来る優位性)についても考えなくては問題は解決しないと学んだ研修会でありました。



友だちつていいな

幼稚園つていいな

月岡幼稚園園長 古里真紀子
育友会会長 田中 祥彦

今年度、園長として四年ぶりに再赴任いたしました。以前と変わらない風景に懐かしさを感じつつ、地域の皆様からの歓迎も変わらず温かく、改めて居心地の良さを感じています。

また、地域を挙げての活動の活発さや結束力にも『月岡地区ならでは』を感じ、皆様の温かい見守りのおかげで、子供たちは伸び伸びと成長しています。

園児数の減少傾向が続く課題となっており、来年度の新入園児の見通しがつかない現状がありますが、保護者の皆様からは、「少人数でも楽しく通っている」「父親も通った幼稚園で安心して預けている」「子供たち一人一人に寄り添った対応をしている」「等、たいへんありがたい意見をいただき、教職員一同、頭が下がる思いです。

子供たちは、毎朝元気に「おはようございます」と登園し、「さよふなら」と降園するまでたっぷり遊びます。自分の好きな遊びをじっくりする子、教師を誘って遊びを見付ける子、友達同士で声を掛け合っ一緒に遊ぶ子等、一人一人の個性は様々です。幼稚園では、遊びを通して見たり、聴いたり、感じたり、気付いたり、考えたり、試したり、工夫したり、表現したり等、たくさんのお話を学びます。子供たちの成長には、この『遊び』がとても大切なのです。そんな子供たち一人一人の思いをしっかりと受け止め、教職員一同、今年度も力を

合わせて努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

地域の皆様、日頃より育友会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度から、コロナの五類移行に伴いつい立てを無くしての給食時間を過ごすことができるようになり、子供たちも嬉しそうに給食を食べています。



給食おいしいね



砂場でハイポーズ！



設立年月 昭和三十年七月

園児数 十七名

教職員数 八名

教育目標

「生き生きと活動する幼児の育成」

子ども達と輝く毎日を

月岡保育所所長 松井 敦子
保護者会会長 敦賀 祐矢

日頃より保育所の活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。保育所では、一人一人の生きる喜びと生きる力の基礎を育むことを土台にしながら日々過ごしています。子ども達の日常の「コマをいくつか紹介します。

保育所の畑で夏野菜を収穫し持ち帰ったところ「サラダにしたよ」「味噌汁に入れたよ」と会話も弾んでいました。先日はスイカを初収穫。最初に実を付けたスイカが割れてしまっただけに大喜びでした。「甘い！」とおいしさは抜群。間近で野菜の成長を見る機会は、手触りや新鮮なおいなど感動を表現する経験となり、仲間と共に味わう喜びに繋がっていると思えました。

また、日頃お店屋さんとお客さんになりきって遊ぶことが大好きな子ども達。そんな日頃の遊びが発展したのが先日開催した夏祭りでした。年長児が中心となり金魚すくいあてコーナーなど考え、友達とワクワクしながら制作していました。特におばけ屋敷では、お客さんを驚かす方法を子ども同士で話し合い、おばけの動かし方を工夫したり音や光の演出も取り入れたりしていました。お客さんの子ども達も手作りのコーナーに大喜び。お店屋さんの年長児も生き生きしていました。イメージを膨らませて作る喜び、友達とアイデアを出し合い協力することは、様々な学びへと繋がる経験だと感じました。

設立年月 昭和五十年四月一日
児童数 八十七名
職員数 二十四名
保育目標 「明るく、元気な子ども」
「自分で考え判断し行動する子ども」
「思いやりのある子ども」
「豊かな感性と表現力のある子ども」



畑でとれたスイカは最高！

す。歩き始めの子どもが一人で立ち上がった瞬間、自分の両手でパチパチと拍手する姿が：「できた！(立ったよ)」と喜んでるようで保育士も思わずニッコリ。また、赤と緑のブロックを重ね「スイカ！」と見立てる場面も：一人一人が全身で精一杯表現している姿がなんとも可愛いんです。

このように保育所には子ども達のきらきらと輝く瞳とかわいっぴがやきが毎日あふれています。遊びや生活の中での一つ一つの積み重ねが子ども達の成長に繋がると信じ保育していますが、その為にも保護者の方々と連携が大切だと思っております。今年度の夏祭りでは保護者会の方々にコーナー遊びを手伝っていただきました。

引き続き保護者の皆様と連携を図り、子ども達の健やかな成長を共に喜び合っていきたいと思っております。今後とも地域の皆様の温かい見守りとお力添えをよろしくお願いたします。

創校百五十周年を迎えて

月岡小学校校長 竹内 一
育友会会長 道江 賢二

五月十七日に行った創校百五十年記念式にあたり、本校の歴史について調べる機会を得ました。月岡郷土史によると、月岡小学校は、明治八年五月十七日、上干俵にあった笹岡さんの家の一部を借りて開校し、開校当時の児童数は、百二十八名、先生は二名だったそうです。

明治時代には、大風で新築の校舎が壊れてしまったり、火事が起きて、校舎が全部焼けてしまったりする災害もありましたが、子供たちに教育を受けさせたいという保護者や地域の方々、先生方の熱意と努力で様々な困難を乗り越え、月岡小学校は続いてきました。

これまでに、月岡小学校を卒業した先輩方の数は、はつきりと分かっているだけで、九千五百五十一名になります。実際はもっと多いと思います。

月岡っ子には、百五十年の伝統に誇りをもち、未来に向かって羽ばたいて欲しいと思います。

今、学校では、「いきいきチャレンジ、あったかファミリー 月岡っ子」を合い言葉に、自分で考え、友達とかわり合いなから、お互いのよさを認め合い、高め合っていくことを目指しています。また、子供たちが、月岡校区の恵まれた自然環境や人と人とのつながりを大切にしながら、心豊かにたくましく成長できるように努めています。そして、この一年間を通して、全校児童で、創校百五十周年をお祝いしていき

たいと思います。

地域の皆様には、月岡っ子と月岡小学校を、引き続き応援していただきますようお願いいたします。

この一五〇周年を迎えることができたのは、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様が、子供たちの成長を温かく見守り、力強く支えてくださったからだと思います。そしてなにより、この小学校で学んだ皆さんの子供たち、そして皆さんが助け合い、励まし合いながら、一日一日、ひとつひとつのことに一生懸命取り組んできたからこそだと思います。

これからも、月岡みんなで仲良く助け合い、子供たちとともに、一日一日、月岡の絆を強くしていきます。



150周年おめでとう横断幕の紹介

設立年月 明治六年
児童数 二百三十九名
教職員数 二十七名
学校教育目標

「主体性をもち、心豊かにたくましく生きる子供の育成」

「自分の花を咲かせよう」

月岡中学校校長 佐藤 龍也
育友会会長 大道 賢宏

次の詩は、「小さな花も美しい」という題名の作品の一部です。

大きな花も美しい
でも小さな花も美しい
大きな花も 小さな花も
それぞれに せいじつばい
自分の花を咲かせているから美しい
大きなことは

大きな花とか 小さい花とか
形ではなく
自分でなければ
咲かせることのできない花を
咲かせているかどうかだ

大きな花 小さな花 赤い花 青い花
いろいろな花が咲いて
花園はさらに美しく豊かになる

この詩には「一人一人がもっているそれぞれの才能を生かし、互いに支え合うこと」で、「人生は美しく豊かなものになる」という思いが込められています。たとえ小さな花であっても、誰にも咲かせることができない花はとても素敵なものです。

「人として周りに何をなすべきか?」と尋ねられ、「私は笑顔を届けます。」と答えられた方がいました。彼女にとっては、『笑顔』は相手と幸福な気持ちを共有する大切な『宝物』だったのです。

「ありがとう」を伝え合いながら共に学び合ってきた一学期。そして、暑い夏を乗



生徒会企画「スポーツ大会」



生徒会企画「Good Morning Word」

設立年月 昭和二十二年四月
生徒数 百四十二名
教職員数 三十名
学校経営方針

「ありがとう」を伝え合える学校
く今日も居てくれて「ありがとう」



り越え、「実りの秋」とも言われる二学期へと向かいます。予測困難で変化の激しい時代、多様性を認め合う時代だからこそ、どんなに小さな事でも、自分にできることを大切にしていきたいと思いました。

「楽しかったバスツアー」

月岡校下児童クラブ連絡協議会

会長 和泉 美穂

わたしたちは富山支部と連携し、様々な活動を通して子どもたちの健全な育成を目標に活動しています。今年度は、久しぶりに県外へのバスツアーを企画しました。多数のご参加をいただき、「サイエンスヒルズ小松」と「こまつの杜」へ行ってきました。「サイエンスヒルズ小松」では化学に触れ、工作で万華鏡を作りました。簡単に作ることができ、思い思いの作品に仕上がったと思います。



鏡を張り合わせた手作り万華鏡

「こまつの杜」では大きな重機を見学し、ミニシヨベル操作体験をしてきました。参加した子どもたちの笑顔が見れて企画して良かったと思えました。

地域の皆様には子どもたちの安全や健全な成長を温かく見守っていただけますよう、今後ともよろしくお願いたします。



スポーツ大会で活躍している月岡の子供たちを応援しています！！

- ☆月岡中学校 1年女子リレーチーム（奥洞実緒、輿友里愛、福原一花、宮本奏）、窪喜蒼（富山県民体育大会、富山県中学校陸上選手権大会）
- ☆橋本琉羽我、平田來斗（富山県中学校陸上選手権大会）
- ☆高田莉子（北信越中学校総合競技大会 水泳競技）
- ☆越場相智、越場日好菜（第23回全日本少年少女空手道選手権大会）
- ☆岩田豊基、村本悠斗、大和拓夢、高田真奈、越場菜々美、大野空埜、杉木大鎮、長江凜音、藤野碧紀、山田愛菜（第39回全国小学生陸上競技交流大会富山県大会）

この他にも、月岡小学校出身の長森結愛さん（大沢野中学校：陸上競技）、木下寛菜さん（呉羽中学校：剣道）が、富山県民体育大会、富山県中学校総合競技大会、北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会などに、高校野球では月岡小・中学校出身の鶴田尚牙くん、秋田幹太くん（富山商業高校）が第105回全国高等学校野球選手権記念大会に出場しています。

令和4年度収支決算書

【収入の部】

（単位：円）

| 項目 | 予算 A | 決算 B | 増減(B-A) | 内 訳 |
|-----|-----------|-----------|----------|---------|
| 助成金 | 1,250,000 | 1,250,000 | 0 | 自治振興会より |
| 参加費 | 90,000 | 0 | ▲ 90,000 | |
| 雑収入 | 880 | 4 | ▲ 876 | 預金利息 |
| 繰越金 | 448,120 | 448,120 | 0 | 前年度繰越金 |
| 合計 | 1,789,000 | 1,698,124 | ▲ 90,876 | |

【支出の部】

（単位：円）

| 項目 | 予算 A | 決算 B | 増減(A-B) | 内 訳 |
|------------|-----------|-----------|---------|-----------------------|
| 施設設備助成金 | 397,000 | 397,000 | 0 | |
| 月岡保育所 | 80,000 | 80,000 | 0 | お絵描きボード、絵本、赤ちゃん人形 |
| 月岡幼稚園 | 80,000 | 80,000 | 0 | マット、デジカメ、図鑑 |
| 月岡小学校 | 117,000 | 117,000 | 0 | カーテン一式、案内板 |
| 月岡中学校 | 120,000 | 120,000 | 0 | テント |
| 地域社会教育費 | 699,400 | 671,700 | 27,700 | |
| ハーマニカに親しもう | 46,200 | 38,500 | 7,700 | 保育所講師謝礼 |
| 英語であそぼう | 129,200 | 129,200 | 0 | 保育所講師謝礼 幼稚園講師謝礼 |
| 芸術鑑賞会補助 | 172,000 | 172,000 | 0 | 保育所（一部補助）、小学校（一部補助） |
| プール監視員手当補助 | 22,000 | 0 | 22,000 | 小学校（監視員手当一部補助） |
| 茶道補助 | 50,000 | 50,000 | 0 | 幼稚園お茶教室謝礼 中学校茶道講師謝礼 |
| スポーツ活動振興補助 | 140,000 | 140,000 | 0 | 小学校・中学校クラブ活動助成 |
| 講演会等の講師手当 | 40,000 | 40,000 | 0 | 中学校講演会等の講師謝礼 |
| スポーツ激励費 | 100,000 | 102,000 | ▲ 2,000 | 高校生以下のスポーツ大会出場選手派遣激励費 |
| 諸活動 | 315,000 | 144,603 | 170,397 | |
| 合同歓送迎会 | 200,000 | 35,550 | 164,450 | 記念品など |
| 教育懇談会費 | 10,000 | 3,153 | 6,847 | 社福と合同開催（案内はがき・お茶代など） |
| 施設慰問費 | 30,000 | 30,000 | 0 | ルンビニ園慰問 |
| 会報作成費 | 75,000 | 75,900 | ▲ 900 | 会報32号 |
| 会議費 | 20,000 | 17,320 | 2,680 | |
| 事務費 | 25,000 | 19,986 | 5,014 | 消耗品費、通信費 |
| 研修会参加負担金 | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| 研修会費 | 50,000 | 0 | 50,000 | 研修会開催費 |
| 慶弔費 | 40,000 | 30,000 | 10,000 | 運動会誌 |
| 繰出金 | 150,000 | 150,000 | 0 | 学校事業基金会計へ |
| 予備費 | 82,600 | 0 | 82,600 | |
| 合計 | 1,789,000 | 1,430,609 | 358,391 | |

次年度繰越額 （収入）1,698,124円 - （支出）1,430,609円 = 267,515円